

活動情報

取組項目

学校教育との連携

組織名

富屋西部ホタル愛護会

河内 管内

宇都宮 市

活動目的：小学校との連携によるホタル生息地の生息環境の調査および環境教育の実践

活動内容：富屋小学校との連携により、ホタルの生息地調査を実施した。ホタルの生息環境について学習するとともに、カワニナの生息量・生息生物全般の理解促進を行った。

富屋西部ホタル愛護会主催 ホタル生息地調査

実施日：平成 24 年 7 月 2 日（月）9:00～12:00

参加者：富屋西部ホタル愛護会、富屋小学校、宇都宮市農村整備課、河内農業振興事務所整備課

（１）ホタル生息地調査

宇都宮市農村整備課の総括で、田中地区、門前地区、西根地区に分かれて調査を実施しました。各地区において、小学校児童とともに生息生物を採捕するとともに、水温・底質・流速・護岸状況・水中および周辺植生等の確認を行いました。

（２）室内説明

採捕された生物の同定および解説は、小学校 2 階の教室にて宇都宮市農村整備課職員が行いました。多くのカワニナの生息が確認できたとともに、ヤマメやホトケドジョウ、ニホンアカガエル、オニヤンマ、シマゲンゴロウといったその他の生物もみられ、興味をもって環境学習ができました。

（３）調査結果からの考察

門前及び田中地区については、カワニナの生育状況とその他生物の生息状況は良好で、ホタルが自然発生していることと併せて環境が保たれていると考えられます。しかし、西根保全地でのカワニナの生息状況は上流側に偏っており、中流部から下流部にかけて泥の堆積が顕著で、本種には生息不適と考えられました。

